



路 政 僧

以て文化の進展を阻害すべき根本原因を排除せむが爲に企てられた軍備制限此根本義の許容すべき範圍に於て協定すべきもの、之を脱しては三國會議開催の意義は失はれむ。

英米兩國、我國參加の誠意を諒解すべし、世界の和平を旨とし、守勢的最低限度に於て軍備を要求、否制限せむとするのが我が主張、之をしも非難せむとするに於ては、寧ろ一步を進め、

軍備を必要とする根本義の艾除に就て論議するが可い、我國の地位否生活、

他給他足の餘義なきもの、之を根據として補助艦現勢力の維持を主張するのは當然事。

若し兩國に眞に和平の誠意あらば、我が要求を俟つ迄もなく、進んでシン

▽ △

米大統領主催三國會議開かる、

論議の焦點は巡洋艦の制限に在り、米

は主力艦制限率、例の五五三の適用を

主張し、英は單艦噸數制限を主張し、

備砲其の他に就て華府協定制限を夫れ

以下に更正せむとする意嚮、我は現有

勢力を以て制限せむことを主張す、英

の一萬艦級巡洋艦制限に就てのみ米の夫れと合致し、其の他は三者の主張に懸隔多大。

三國會議の立場を基礎として主張す

べきを主張するは素より當然であるが

會議開催の趣旨を體して論議すべき筋

合、否な當然、冗費多き不生産的支出

を省き、國民の苛酷な負擔を緩和し、

ガポール乃至ハワイの防備を撤去するか、乃至は制限すべく讓歩するのが當然、此事を爲さずして互に其の主張を強調するのは、英米兩國に誠意なきを表徴するもの、我れが兩國の態度に對して疑念を持し、其の主張を重視する所以。

英國の如き佛伊兩國不参加の爲に決定を留保し、華府會議の決定を改定するの意見を提出するは誠意を缺くものと言つて可、米と覇を争ふの心根なら初めより男らしく佛伊のやうに不参加を聲明するのが寧ろ國際禮讓、夫れをも亦爲し得ず米國に於ける排日熱盛なるとき、輕卒な重米政策に耽り今は恐露心かられて日英同盟復活の意を仄めかす、何たる醜外交ぞや、腹の探り

合ひに祕術を盡す外交振り、資本主義的國家の外交手段、今の時代に許すべきに非ず、憐むべきは老大英國の外交、此思想を以てしては殖民領土の統治困難を來すは當然。早く眼醒むるが可い。我が最低限度の要求、之をしも容れずむば、英米兩國の主張は畢竟軍備擴張に變化したるもの、英米軍備の擴張會議には私の出席を必要とせず、潔く華府を去つて歸朝すべきである、吾人特に之を政府に進言す。

▽ △

首相の發議した東方會議漸く終了、對支問題の喧しきとき之を開く、世の重視するのは當然、併しながら對支政策の確實を期するが爲に直接彼地に於

ける實情を聽取するに在りとせば、吾人其の開催に賛成し寧ろことの遅かりしを恨む、之を難する者、今頃になつて對支策の確立でも無いと、併しながら英國の矛盾した對支策、米國の日和見的態度何れも確固たる信念なきに由る、蓋し各國とも居留民の保護と特殊利益の保護とを、南北相争ふ支那に對して要求するには餘りに支那が混亂せるに依る、従つて支那の實情を知るの必要極めて切、之に依つて對支政策を變更するのも亦妙、若し夫れ從來行はれた對支外交——外務陸軍參謀本部の三重外交の惡弊を矯正するを得ば、此會議の効果更に大、政府攻撃の具に此會議の齎す效果までを非難するは吾人之を探らず、唯だ決定したることを在

滿軍人及關係人に徹底せしめ、私の對支策を知らしむるが刻下の緊要事。

山東の出兵、新らしき南京漢口事件に遭遇した體驗者として、轉ばぬ先の杖、或は當然事とも言ふを得む、併し前内閣の對支策を軟弱と言つた政友會と、夫れを統御する田中男が軍人なるとに依つて援張の嫌疑を招くべきを憂ふ、殊に身軍籍に在りながら蔣張妥協を斡旋するが如きは吾れ斷じて許さず

南北平等内政不干涉、是れ我が對支策の重要眼目であらねばならぬ。

排日氣勢を今まで抑制した南京政府我れの出兵を臆斷したか、豫定の筋書きを辿つて南支一帯、排日ボイコット、深刻を極む、出兵に對するボイコット、固より彼の自由たるも、少しは出兵の

動機と理由を自覺するが可い、南京事件事を惹起した責に鑑みなば排日は無謀の擧と言ふべし、無謀の擧、經濟的に將た政治的にも支那の爲には爲らざるべし、我も亦損、しかし出兵は其の動機の消滅に依つて當然撤兵すべく、之に依つて排日は緩和されむ、早く濟南より撤兵すること、唯だ此一途あるのみ。

▽ △

政府の川崎救濟案放棄さる、當然過ぎる程の當然事、川崎造船所が破滅して製艦費前渡金を損失し、一萬六千の職工失業し、地元商工業者乃至は株主が損失を蒙つても、夫れは國民一般に何等の影響は無い、後者の損失に對しては言はずもがな、前渡金に對する損

失は一般債權者として國家が強制徴收すれば可、失業者も一般失業者救濟方に依つて取へ扱ば可、事態明瞭であるに不拘、細民勞働の結晶たる預金部資金三千萬圓を低利融通せむとする如き、資本家擁護の策略が今の世に容れらるべきものと思ふだけでも間違、之を放棄したのは政友會内閣壽命の爲に祝す。

併し此愚案を閣議にまで提出した其の事は、現内閣が資本家階級保護の政策を採らむとする肚裏を現はしたもので野黨が資本主義的政友會と評するも無理は無い。吾人政友會の爲に惜む。川崎の不始末に就て聯想さるべきは、事業會社の減配問題、儲けたときは、勝手に株主に配當して放漫な經營に耽

り、損失を蒙るに至つて經濟界を荼毒す、國民經濟上許すべき行爲に非ず、之を強制矯正するの手段——株式會社利益配當制限方法を講ずるは、せめて現内閣の資本家擁護非難に對する妙案。現内閣に之を實行する勇氣ありや

▽ △

行政系統の根本的の改革を策する爲、行政制度審議會を設置す、前内閣に於ける行政調査會と異名同質、設置の趣旨必ずしも答むべきで無い、併し從來此種會議の一として碌な成績を挙げたるもの無し、蓋し組織其のものに缺陷を藏するに由る、缺陷——夫れは委員たる官吏の多數を占むると、事實調査の機關を有せざるに在り、前者に因つ

ては司掌事務に偏重して大局を洞察することに缺け、後者に因つては主管省の調査意見に捉はるゝの弊を藏す、所謂白紙を以て大所高所より立論し得る非官人を網羅するに非ずんば、審議會設置の趣旨を貫徹する能はざるは明か。

審議項目多數。例に依つて宣傳さる、地方分權制度の確立、文官任用令の徹底的改正、軍部大臣の文武官併用、拓殖省交通省社會省の創設と、夫れから夫へと多種多様を極む。

地方分權制度の確立、地方行政官廳と公共團體の權限權能を擴張し、責任以て地方の實情に適した政治を實現せしめむとするもの、固より可、併しなから現内閣の要位を占むる者、東京市

長の逐出しを畫策し、市會の切崩しを策したと傳へらるゝやうでは分權制度の確立も、實行困難と評すべし、固より現市長を理想的の者とは言はぬ、其の人たる前内閣の一參政官が、市民怨嗟の裡に策動して擔ぎ挙げた人、しかし免に角市民の選舉したるもの、之を官權を振り翳して逐出さむと陰謀す、

自治權の蹂躪と言はずして何ぞや、分權の思想と相離る餘りに遠し。文官任用令の改正、之も亦歴代内閣の策する所、併しながら黨の不平等分配、教育の機會不均等が幸して、帝大を出たこと、高文をパスした事を以て

官吏の要件と心得、夫れが所謂高級智識の所有者と考へてゐる官僚式委員の頭腦を改造して後、始めて徹底的改正

が行はるべきもの、偶然の幸が齎した  
 経歴、必ずしも官吏として適任性を有  
 するもので無い、官界に活きた人を得  
 ざるは、此偶然事を要件として門戸を  
 閉鎖するに由る、殊に這般無鐵砲に行  
 はれた地方官の交迭、警視廳管内警察  
 署長の交迭は、身後に生活の保證なき  
 者をして官吏を希望せざらしむるに至  
 るは必定、會々希望者ありとするも地  
 位不安に胚胎して、權勢に阿諛迎合し  
 職務に専心たらざるべし、任用令の改  
 正結構なるも、任用後に於ける人事行  
 政に信を得るに非ずむば、官界遂に人  
 無きに至るべく、寧ろ任用令改正より  
 も人事行政の改革を先とす、夫れが人  
 を得るの捷徑に非ざるか。

軍部大臣の文武官併用、之も在野時

代の主張、軍隊の民衆化を主張したこ  
 とに依つて上塗され實行すべき當然の  
 責任あるもの、併しながら随分反對論  
 がある、陛下の陸海軍とか軍部に政  
 黨臭味を容るべきに非ずとかの類は兒  
 戲の論、探るべきに非ず批評の價値亦  
 なきも、文官大臣が軍事に經驗なく、之  
 を理解せざるが爲に危険なりと爲すの  
 説は考慮に値す、併しながら軍部にも  
 現に政務と事務を區別して行政しつゝ  
 在る實情よりすれば、之のみを理由に  
 併用の不可能を唱ふる能はざるべし、  
 唯だ首相が軍人だけに軍部の反對を切  
 り抜け得る可能性はあるが、是れも陸  
 軍だけのこと。

交通省拓殖省社會省の創設、事務系  
 統を整調しての發案なら、必ずしも反

對しない、併し省新設を先決して後に  
 理由を附加する遣り方は、徒に官廳を  
 増加するもの、斷じて許すべきに非ず、  
 路政に關係する交通省にしても、遞信  
 鐵道兩省と、内務省土木、陸軍省航空  
 の兩局を廢止して之に代るものとせば  
 可、然らずとせば現狀を維持して主管  
 事務の連絡を整理するのが得策。

此く考察せば審議會の前途多難、唯  
 た會に附議したゞけで政府の責任は輕  
 減乃至免除さるべきで無い、實行を期  
 して國民に問へ。

▽ △

大交迭後の地方長官會議開かる、恒  
 例會議、併し復活左遷の兩組、互に思  
 ふ所を秘めての顔合せに妙味を呼ぶ、

初日あるべき首相の訓示が無かつたのは異例、併し訓ふる所は歴代首相の夫れと同一、曰く對支外交と國防、國民精神の涵養、社會政策人口食糧問題、

行政整理及選舉制の徹底等と、文切型の訓示、在野黨が陳腐な政策の羅列と評するも無理は無い、強いて異を求むれば産業立國、税制の整理、教育制度の刷新位が夫れ。

産業立國、生産組織を改善し重要工業を確立し、産業貿易に關する資金を融通して、産業の振興を助長獎勵し社會問題經濟問題を解決せむとするもの其の言や可、恐らく何人も反對する者あらざるべし、唯だ國民の聽かむとする所は其の手段方法如何に在り、各主管大臣の訓示又其の具體策に及ばず、

或は前内閣の夫れと同一、徒に高言するに非ざるやを疑ふ、川崎救濟策が其の片鱗なりとせば、農業立國策、寧ろ樹てざるに不如。

税制の整理、地租の地方委譲を中心としての税制の改革、必ずしも咎むべきに非ずとするも、之に依る國庫税源の補充、委譲主體の決定、何れも税制調査會の決定に讓る。教育制度の刷新

是も亦何々調査會の決定に俟つと言ふは當然、蓋し在野當時に政務の調査を怠つた結果に外ならず、之を獨り政友會に責むるのでは無い、我國既成政黨の遣り方皆此類を出でず、而して尙政の實行を高調す、國民の多數が既成政黨に走らざる所以、早く具體策を示すことが現内閣の壽命を保持する基。

鈴木内相の訓示、首相の夫れと大同小異、併しながら政策に胚胎して派出すべき事業の獎勵を言つた所聊か妙、此旨を受けた地方長官、歸任の上は道路改良は勿論地方施政に幾分の新味を示すであらう、併し地方民の必要とする所に夫れを策せ、不急の土木工事を起したり、選舉干渉の準備に力むるの

は斷じて之を許さず。  
知事公選の可否論議さる、政友會從來の聲明、今頃に爲つて論議でも無い地方自治體の代表者を團體員の自選に求むるのは可、併し官治と自治の範圍は實際しかく明確で無い、之を爲し得ても團體代表者に官治行政の總てを執行せしむるの不可、茲を以て問題は地方長官的役人の二者を並立せしむる

の可否に繋る。我が國財政が之を許すや否は大に疑問、寧ろ現制度の下に於て自治制を濃厚ならしむるを可とせむ某知事は公選論二十年來の主張であると機嫌取りの意見を述べたと傳ふ、二十年間主義政策を異にする内閣の交渉する幾回なるを知らず、併も行政刷新の議、論せらるゝこと何十回、常に之を言はずして今之を主張す、政府の主張に迎合するものと言ふの外無し、之を諍ふものも答ふるものも共に誠意を缺く、八百長的論議と可評。

首實驗の會議、言はざるに不如、内務以外の會議では不言同盟行はれ、唯だ言ふ所を聞くだけ、政府の意見に反抗するばかりが能で無いにしても、意見の不一致點を主張するのは會議の最

大目的、之を爲さずとせば地方長官會議廢止するに不如、免角の非難はあつたにしても今更江木千之や森正隆の如き硬骨漢知事の存せざるを惜む。

▽ △

郡役所廢止に伴ふ弊害を云々して出張所の増加を認めむとする者あり、政府部内に之を賛成する者ありと聞く、

郡役所廢止の不可なる吾人年來の主張、併しながら内閣が變つたと言つて今更今を高調す、阿諛の論、昔、政友會が郡制を廢止したのも其の終局する所は郡長の廢止であつた、今更出張所の廢止でもあるまい、夫れよりは町村監督の繁雜を簡にして、町村の自覺を喚起する手段を講ずるのが賢策。

▽ △

政府、道路改良を策し、從來の方針を改定して第一期と第二期計畫とし、第一期として一億二千四百九十萬圓、外に産業道路改良費として六千二百四十三萬圓を十箇年間に支出せむとす、産業立國策を高調する關係上寧ろ其の渺き感ず。

地方は之に對應して道路改良計畫を樹立するのが得策、併し地方的分配の關係に捉はれたり、權勢に迎合するの改良策なら樹てざるに不如、現在と將來に互つての交通情勢を遠觀し、合理的に樹策すべきは當然、之に反するものには國家は補助せざるものと知るべし。